

第10回 自動車安全技術プロジェクトチーム会議の概要

1 開催日時等

- (1) 日時 平成29年9月13日(水) 午後1時30分～午後2時45分
- (2) 場所 ウィンクあいち 1003会議室
- (3) 出席者

愛知県副知事 森岡 仙太

【企業】

石尾 渉 オムロンオートモーティブエレクトロニクス(株) 開発統括室技術開発部長
木津 雅文 トヨタ自動車(株) ITS企画部長
河野 慎司 アイシン精機(株) 走行安全制御技術部長
越山 敬一 中部日本自動車学校 取締役
白石 恭裕 三菱自動車工業(株) 車両技術開発本部チーフテクノロジーエンジニア
樋口 正浩 (株)デンソー ADAS推進部 事業推進室長
松永 栄樹 (株)アドヴィックス 制御第2技術部

【大学】

小栗 宏次 愛知県立大学 情報科学部 教授
鈴木 達也 名古屋大学 大学院工学研究科機械システム工学専攻 教授

【行政】

国土交通省中部運輸局
愛知県産業労働部、振興部、県民生活部、建設部
愛知県警察本部

2 議事概要

- 副知事挨拶の後、事務局及びメンバーから、今年度のプロジェクトチームの取組成果及び関連の取組について報告を行った。
- 成果報告等の後、意見交換を行った。主な発言は以下のとおり。

【主な発言・報告】

- 愛知県は、狭い道路で車のスピードが速い。狭い道で譲り合わず対向車が突っ込んでくる。交通マナーが悪いというよりも、違反に近い。
- 歩行者、自転車が横断歩道を渡るときのスピードも速い、横断歩道を渡る時に左右確認をあまりしないで危険予知に基づかない行動をとっている。スピードの速い車と、そういう歩行者や自転車が組み合わされば、事故が起こる。
- 今のような運転行動を前提にすると、技術で事故を減らすというのはなかなか難しい。何よりもドライバーの意識を変えて、他県では当たり前の運転操作、マナーとすることが必要と感じている。

- 年末にかけて交通死亡事故が増加傾向となるが、とりわけ歩行中や自転車乗用中の被害が増加する。歩行中死者の約8割は高齢者であり、名古屋市や三河地域で多発傾向となる。自転車乗用中の死亡事故は、西尾張地域が多い。このような地域特性を踏まえた交通違反取締を実施し、その地域のドライバーの意識を変える必要がある。取締りによって、地域のドライバーの意識を変えた一例として春日井署が挙げられる。横断歩行者妨害違反の取締りを徹底的に行ったところ、春日井市では今年、歩行者の横断歩道横断中の死亡事故は発生していない。今後とも効果的な取締り活動を推進する。また、生活道路の交通事故抑止政策として、今年度から可搬式自動速度取締装置を導入している。生活道路における速度違反の取締りを通じて、速度抑制や通過交通の排除を図る。